

可決した意見書

議会は、地方自治法第99条の規定に基づき、地方公共団体の公益に関することについて、意見書を国会または関係行政庁に提出することができます。今定例会では次の意見書を可決し、鎌倉市議会として関係機関に送付しました。

神奈川県に対し、子宮頸がん予防ワクチン接種後の健康被害者への医療支援を求める意見書

2013年3月に予防接種法が改定され、同年4月より子宮頸がん予防ワクチンが定期接種となった。国は、唯一予防できるがんとして、当該ワクチン接種を推奨してきたが、全国で接種後の健康被害が報告され、社会問題となっている。厚生労働省は、同年6月に、当該ワクチンの接種を「積極的に勧奨しない」としたが、いまだ安全性の立証に至っておらず、健康被害に遭われた方々への補償は行われていない。

本年6月1日から、横浜市は、子宮頸がん予防ワクチンの接種後、原因不明の症状を有し、日常生活に支障が生じている方への独自の医療支援を始めた。神奈川県内に住みながら、当該ワクチン接種後に健康被害に遭われた方の救済に地域格差が生じることは好ましいことではない。県内に住む被害者及びその家族は、現在まで多大な苦しみと経済的な負担を強いられている。

そこで、神奈川県におかれでは、国に対して子宮頸がん予防ワクチン接種後の健康被害者に対する医療支援を早急に実施するよう働きかけるとともに、国が医療支援を実施するまでの間、当該ワクチンを接種した後に原因不明の症状があらわれ、日常生活に支障が生じている方々に対して、神奈川県独自に医療支援を実施することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年9月26日

鎌倉市議会

神奈川県に対し、子ども・子育て支援新制度における民間保育所運営費補助金制度の継続を求める意見書

2012年8月に「子ども・子育て関連3法」が成立した。この3法に基づき、児童期の教育や保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するための「子ども・子育て支援新制度」が、2015年4月からスタートする。新制度は、一人一人の子供が健やかに成長することができる社会の実現を目指して創設されるものである。財源としては、消費税率の10%引き上げによって確保する約0.7兆円が恒久的に充てられる。しかし、待機児童解消のための施設整備と保育の質の改善のためには、0.7兆円では足りず、1兆円を超える財源が必要であり、政府はその確保に最大限努力することが求められているところである。

神奈川県では、これまで民間保育所に対する支援として、市町村と協調し、保育士の加配など、より質の高い保育を行うため、民間保育所運営費補助金制度を実施してきた。しかし、県においては、新制度に移行する中で、この民間保育所運営費補助金制度の廃止を検討している。

これまで鎌倉市の待機児童対策、子育て支援に御尽力いただいている民間保育所が、安定的に一人一人の子供に質の高い保育が実現できるよう、県におかれでは、これまでどおり民間保育所運営費補助金制度を継続するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年9月26日

鎌倉市議会

鎌倉市議会からのお知らせ

◇かまくら議会だより 音声版・点訳版のご案内

「かまくら議会だより」は、鎌倉朗読・録音奉仕会と鎌倉市点訳赤十字奉仕団のご協力により、音声版(収録テープ・ディジタル)と点訳版を作成しています。ご希望の方は議会事務局議事調査担当までお問い合わせください。

◇請願・陳情の出し方

市民の皆さんの意見・要望を、市議会を通して行政に反映させる制度として請願と陳情があります。請願は1人以上の紹介議員の署名が必要ですが、陳情は不要です。提出に当たっては、所定の様式があるため、事前に議会事務局議事調査担当までお問い合わせください。

提出の締め切り…提出はいつでも可能ですが、定例会初日の前日までに提出された場合はその定例会で審査し、それ以降の提出の場合は次回定例会での審査となります。

鎌倉市議会事務局 議事調査担当

電話：0467(23)3000 内線2448
FAX：0467(23)5825
メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

本会議・委員会映像公開中です！

鎌倉市議会では、本会議及び各常任委員会等について生中継を行っています。(録画映像も見ることができます。)

鎌倉市議会ホームページはこちら！

<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/>

鎌倉市議会

検索



決算特別委員会委員

今定例会では、市長から平成25年度の一般会計及び6特別会計決算の認定議案が提出されました。

決算特別委員会の設置

議会は、9月8日の本会議

において、各会派から選出された委員10名からなる平成25年度鎌倉市一般会計歳入歳出

決算等審査特別委員会（以下「決算特別委員会」という）を設置し、これらの審査を付託しました。

決算特別委員会での審査

決算特別委員会では、9月17日、18日、19日、22日の4日間にわたり、予算審査における議会の指摘事項の反映状況や、実施計画の進捗状況などを中心に、担当部課等への質疑を行い、重要課題については市長に出席を求め、その見解をただしました。

会計決算及び後期高齢者医療事業特別会計決算は多数の賛成により認定、下水道事業、大船駅東口市街地再開発事業、

国民健康保険事業、公共用地先行取得事業及び介護保険事業特別会計決算は総員の賛成により認定しました。

本会議において委員長からの審査結果報告・討論・採決

9月26日の本会議において、委員長から審査経過及び結果が報告されました。一般会計は、市民に対する情報提供の在り方を十分に研究し、確実な避難行動につながる行動手法の普及啓発や各種情報の周知徹底を図り、避難計画及び要援護者対策を地域住民とともに検討するよう要望する。

その後、7会派から討論として決算議案に対する賛否の意見が表明され、引き続き採決を行った結果、一般会計別会計決算を多数の賛成により認定、下水道事業ほか4件の特別会計決算を総員の賛成により認定しました。

鎌倉市由比ガ浜4丁目大型施設に伴い地域住民の安全確保を求める陳情

由比ガ浜四丁目に計画されている大型商業施設が建設された場合、迂回するために周辺の道幅が狭い道路を通行す

ることから、小学校の余裕教室を活用するなど、施設整備の検討を早急に行うよう要望する。

度当初に待機児童を生む結果となり、また、増加傾向であることから、小学校の余裕教室を活用するなど、施設整備の検討を早急に行うよう要望する。

度当初に待機児童を生む結果となり、また、増加傾向であることから、小学校の余裕教室を活用するなど、施設整備の検討を早急に行うよう要望する。

度当初に待機児童を生む結果となり、また、増加傾向であることから、小学校の余裕教室を活用するなど、施設整備の検討を早急に行うよう要望する。

度当初に待機児童を生む結果となり、また、増加傾向であることから、小学校の余裕教室を活用するなど、施設整備の検討を早急に行うよう要望する。

度当初に待機児童を生む結果となり、また、増加傾向であることから、小学校の余裕教室を活用するなど、施設整備の検討を早急に行うよう要望する。

度当初に待機児童を生む結果となり、また、増加傾向であることから、小学校の余裕教室を活用するなど、施設整備の検討を早急に行うよう要望する。

度当初に待機児童を生む結果となり、また、増加傾向であることから、小学校の余裕教室を活用するなど、施設整備の検討を早急に行うよう要望する。

度当初に待機児童を生む結果となり、また、増加傾向であることから、小学校の余裕教室を活用するなど、施設整備の検討を早急に行うよう要望する。

平成25年度決算を審査 一般会計及び6特別会計決算を認定

今定例会では、市長から平成25年度の一般会計及び6特別会計決算の認定議案が提出されました。

決算特別委員会の設置

議会は、9月8日の本会議

において、各会派から選出された委員10名からなる平成25年度鎌倉市一般会計歳入歳出

決算等審査特別委員会（以下「決算特別委員会」という）を設置し、これらの審査を付託しました。

決算特別委員会での審査

決算特別委員会では、9月17日、18日、19日、22日の4日間にわたり、予算審査における議会の指摘事項の反映状況や、実施計画の進捗状況などを中心に、担当部課等への質疑を行い、重要課題については市長に出席を求め、その見解をただしました。

会計決算及び後期高齢者医療事業特別会計決算は多数の賛成により認定、下水道事業、大船駅東口市街地再開発事業、

事業特別会計決算は多数の賛成により認定、下水道事業、

事業特別会計決